

VI 技術資料

カバークロップの作付け

- ・ **標準播種量以上に播種し、適正な栽培管理**を行った上で**全量をすき込む**
- ・ 適正な栽培管理が行われているかどうかの目安は、4月以降のカバークロップが**ほ場の概ね8割以上を覆っていること**です。

(1) レンゲ

① ほ場準備

早めに排水溝を設置し、水尻につなげる等、麦作と同様の排水対策を行います。

② 播種・覆土

10月上旬 ～ 10月下旬

③ 標準播種量

10a当たり2～4kg（遅まきは多めに）

- ・ 播種および覆土作業は、必ずほ場が乾いている時に行います。
- ・ 湿田では播種量を増やします。

※レンゲの生育にムラがあると、レンゲ跡水稻の生育ムラにつながります。播種ムラが無いように均一に播種しましょう。

- ・ 播種後にトラクタ等で軽く覆土します。
- ・ 水稻の収穫前に播種し、稲わらを被覆することで、覆土作業をしない方法もあります。ただし、この方法では排水が悪いほ場では生育ムラが大きくなるので、排水対策の徹底が必要です。

④ すき込み

4月中旬ごろ

- ・ レンゲの開花が全体の4割程度になった時が、すき込みの適期です。
- ・ レンゲの生育が良い場合は、早めにすき込みます。
- ・ トラクタの速度を低速にし、丁寧な耕うんをおこないます。

⑤ レンゲ跡水稻栽培の注意

作業等	注 意 点
入 水	レンゲのすき込みから10日間程度空ける すき込み量が多い場合は長く空ける
田 植 え	入水から1週間以上空ける 60～70株／坪で植付ける
基 肥 ・ 追 肥	原則施用しない
ガス発生抑制	ガス湧きがみられる場合は、早めに軽く干す
中 干 し	目標の茎数が確保できたら、2週間以上行う
穂 肥	葉色を見て判断する



(2) ヘアリーベッチ（和名：ナヨクサフジ）

① ほ場準備

早めに排水溝を設置し、水尻につなげる等、
麦作と同様の排水対策を行います。

② 播種・覆土

10月上旬 ～ 10月下旬

③ 標準播種量

10a当たり3～4kg（遅まきは多めに）

ただし、品種によっては播種量が異なりますのでカタログ等で播種量を確認
しましょう。

- ・ 湿田では播種量を増やします。

※ヘアリーベッチの生育にムラがあると、水稻の生育ムラにつながります
ので、播種ムラが無いように均一に播種しましょう。

- ・ 播種後にトラクタ等で軽く覆土します。

④ すき込み

4月中旬ごろ

- ・ すき込みはヘアリーベッチの草丈が30cm程度までで、花が咲くまでに行
います。
- ・ 目標生草量は、2t/10aです。生育が良い場合は早めにすき込みます。
- ・ 地上部の生重は、実際に刈り取って重さを量ることが望ましく、目安は
50cm四方枠で600～800gです（約2～3t/10a）。
- ・ 草丈が40cmを超えるとロータリ軸にからまりすき込めなくなります。こ
の場合、フレールモアで細断するときれいにすき込めます。
- ・ トラクタの速度を低速にし、丁寧な耕うんをおこないます。

⑤ ヘアリーベッチ跡水稻栽培の注意

作 業 等	注 意 点
入 水	ヘアリーベッチのすき込みから7～10日間程度空ける（すき込 み量が多い場合は長く空ける）。 草丈が40cmを超える量となった場合は、すき込みから入水 までの期間を2週間以上とする。
田 植 え	入水から1週間以上空け、60～70株/坪で植付ける
基 肥 ・ 追 肥	原則施用しない
ガ ス 発 生 抑 制	ガス湧きがみられる場合は、早めに軽く干す
中 干 し	目標の茎数が確保できたら、2週間以上行う
穂 肥	葉色を見て判断する

